

第1回高齢者歯科医療講習会 (ハイブリッド開催)

- ◆日時 令和7年11月24日（月・祝） 10時00分～12時20分
- ◆会場 静岡県歯科医師会館 5F 501大会議室
- ◆対象 歯科医療従事者、多職種、行政関係者 等
- ◆定員 会場：60名



演題（120分）

誤嚥とは異なる「窒息」と食支援の考え方！
～対応の方向性を見誤らないために～

講師 長谷 剛志 先生

（公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長）

2001年 北海道医療大学 歯学部 卒業
2006年 金沢大学大学院 医学系研究科 修了 医学博士
2009年 公立能登総合病院 歯科口腔外科 医長
2015年 同 部長

- ・金沢大学医学部 外科系医学領域 顎顔面口腔外科学分野 非常勤講師
- ・琉球大学医学部 高次機能医科学講座 顎顔面口腔機能再建学分野 非常勤講師
- ・北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 小児歯科学分野 非常勤講師
- ・「食力の会」代表
- ・市立輪島病院 歯科口腔外科 非常勤医師
- ・石川県立田鶴浜高校 衛生看護科 非常勤講師

【申込方法】**申込締切：令和7年11月17日(月)**

本会ホームページ(<https://s8020.or.jp/>)または下記QRコードから
お申し込みください。

※会館での受講とWEB受講で申込フォームが異なりますのでご注意ください。

会場受講申込み



<https://x.gd/X3l1L>

WEB受講申込み



<https://x.gd/BEgLk>

第1回高齢者歯科医療講習会 (ハイブリッド開催)

誤嚥とは異なる「窒息」と食支援の考え方！

～対応の方向性を見誤らないために～

長谷 剛志 先生

高齢者を取り巻く歯科医療において、口腔衛生と口腔機能の維持・管理の総括として「食支援」に取り組む歯科医療従事者が増えています。しかし、「食支援」と一言で言えども咀嚼や嚥下の機能的問題のみならず、高齢者の場合、anorexia of agingを課題とした認知機能や心理的問題、栄養、薬剤など多角的因子が複雑に関与していることが多く、末端局所の評価のみで解決することは少ないです。

一方、療養環境によって「食の何をどこまで支援するか？」その方向性と介入レベルは様々です。特に、医療と介護の間には食支援の方向性に大きな齟齬を感じる事が多く、食事介助を担う施設職員や家族へのアドバイスに困ることがあり、地域包括ケアにおける食支援の盲点とも言えます。さらに、昨今の超高齢社会事情を背景として、提供した食事によって起こる「窒息死」の介護訴訟も増加しており、食支援の一翼を担う歯科医療従事者も誤嚥とは異なる窒息のリスク管理についても考える必要もあります。

そこで、今回の研修会では、誤嚥とは異なる「窒息」の問題について、評価のポイントと食支援における注意点を検討し、歯科として多職種連携型の食支援に有機的に参画できるよう備えたいと思います。

【WEB受講に関して】

Zoomウェビナー登録完了後、下記①、②いずれかの方法で受講できます。

①登録完了後に届く確認メールに記載のここをクリックして参加をクリック

②受講日に届くりマインドメールに記載のウェビナーに参加またはURLをクリック

※登録後、①の確認メールが届かない場合は、正しく申し込みができていない可能性がありますので、メールアドレスをご確認の上、再度お申込みください。

また、迷惑メールに分類されている可能性もありますのでご注意ください。

※本研修会に関する資料等は、②のリマインドメールより閲覧可能とする予定です。

お願い

お車でのお越しはご遠慮下さい。

(会館東側の静岡市静岡歯科医師会、近隣店舗には駐車しないようお願いします)

主 催：静岡県・一般社団法人 静岡県歯科医師会

問合先：静岡県歯科医師会地域保健部・高齢期歯科専門部会

TEL：054-283-2591

Email：tokusyusika@s8020.or.jp